

船橋市は、さまざまな手段により、防災に関する情報を発信しています。

「防災ブックレット」をご活用ください!

市では、災害が起きたときの対処方法をまとめた「防災ブックレット」を令和5(2023)年4月に作成しました。この冊子では、地震・火災・風水害等が発生した時のそれぞれの対策、避難施設の一覧や市から発信する様々な防災情報の入手方法など、幅広い情報をまとめており、これまでお配りしていた「チャートでわかる災害時の行動」の内容を強化したものです。

いつ訪れるか分からない災害への備えとして、ご家族や地域の皆さまと、防災について話し合いをする際にも、是非お役立てください。



船橋市ホームページ トップ > 防災ポータルサイト > 防災情報等 > 自助・共助の取り組み
https://www.city.funabashi.lg.jp/bousai/003/jijo_kyoujuo/p092699.html

船橋市公式アプリ「ふなっぷ (Funapp)」を配信しています。



「ふなっぷ」では、現在地から近くの避難施設を検索したり、防災マップ、各種ハザードマップ、防災ブックレットなどを見ることができます。

ふなっぷでは避難所の場所等、様々な防災コンテンツをご覧いただけます。↓下のコードを読み取り、表示されたURLにアクセス、または、各アプリストアで「ふなっぷ」と検索し、アプリをダウンロード。



●ふなばし情報メール「ふなばし災害情報」

船橋市は、風水害や地震などの自然災害や避難所開設などの情報をメールでお知らせする「ふなばし災害情報」や、防災行政無線の放送内容を受けとれる「防災行政無線放送内容」を配信しています。詳しくは、船橋市ホームページをご覧ください。

●船橋市ホームページ

災害時の緊急情報など、船橋市に関するさまざまな情報を発信します。
<https://www.city.funabashi.lg.jp/>



●防災行政無線

船橋市では、市内に防災行政無線を設置し、屋外にいる方に対して、気象情報や地震・津波情報、避難など防災に関する情報、災害時のさまざまな情報を発信しています。

防災行政無線の内容は、フリーダイヤル(0120-2784-61)やふなばし情報メール等で確認できます。



●船橋市公式 LINE アカウント

避難情報や防災行政無線等の内容をLINEで自動配信します。〈配信方法〉右コードを読み取り友だち追加し、配信カテゴリで「ふなばし災害情報」を選択してください。重要情報は必ず配信されます。

(LINEに配信する内容は、ふなばし情報メールの内容と同じものです。)



参考: 船橋市ホームページ・船橋市「防災ブックレット」

船橋市議会議員

のりこ
いとう紀子

世代をつなぐ。地域をつなぐ。

住所: 〒273-8501 船橋市湊町2-10-25
 TEL.047-427-7615 FAX.047-751-3574
 mail:n0917s1227@gmail.com

職歴 船橋市内ペットショップ(トリマー)
 平成26年 衆議院議員秘書
 平成29年 船橋市議会議員補欠選挙 初当選
 平成31年 船橋市議会議員選挙 当選
 令和4年度 船橋青年会議所事務局長・財務局長
 ■ 船橋北ライオンズ会員

学歴 習志野市立習志野高校 卒業
 専門学校ちは愛犬動物学園 卒業



日々の活動状況は、SNSでも配信中! ぜひ、ご覧ください!



市議会報告レポート Vol.12

船橋市議会議員

のりこ
いとう紀子

世代をつなぐ。地域をつなぐ。



討議資料

災害に備えましょう。—いのちを守る防災対策—

地震発生!そのときどうする?

地震発生

丈夫な机の下に入るなど、まずはその場で自分の身を守る



地震発生後
1~2分

揺れがおさまったらドアを開けて出口を確保する

ガラスの破片などから足を
守るため靴をはく

火元を確認し、出火してい
たら初期消火を行う

地震発生後
3分~

同じ程度の地震に
注意する

非常持出品(非常持出袋)
を準備する

電話は控える

家族の安否を
確認する

地震発生後
5分~

頭上からものが落ちてくる
可能性があるため、周囲を
確認してから外に出る

避難する時にはガスの元栓
を閉め、電気のブレーカー
を切る(停電復旧後の通電
火災の防止)

一人暮らし高齢者や要配
慮者がいる家に積極的に
声をかけ、隣近所の安否
を確認する

地震発生後
10分~

テレビやラジオ、防災行政無線等で正しい情報を確認する
【防災行政無線が聞こえない時は…】
 「ふなばし情報メール」や「船橋市LINE公式アカウント」に登録すると防災行政無線で放送した内容を受けとれます。
 (詳細は裏表紙を確認してください。)

家族がそろっていない場合
は目立つ場所にメモを残す

地震発生後
数時間

消防・救出活動に協力する

家が倒壊のおそれがある等、危険な場合は避難所で生活
する(危険がない場合は、自宅で生活する)

地震発生後
数日間

避難所では集団生活のルールを守り、運営に協力する

- 懐中電灯** できれば一人に一つずつ
 予備の電池(発電式のものもある)
- 携帯ラジオ** 小型で軽く、AMとFMの両方を聞けるもの
- 非常食・飲料水** 缶詰やクラッカーなど、火を通さずに食べられるもの
 水はペットボトル入りが便利
- 貴重品** 多少の現金(公衆電話を利用するための硬貨も)
 健康保険証のコピー …など
- 救急医薬品** 傷薬 ばんそうこう 解熱剤 かぜ薬 常備薬 お薬手帳(写し) …など
- その他** ヘルメット・防災すきん ろうそく・ランタン 上着 下着類 軍手 マスク ライター・マッチ
 ナイフ・缶切り・栓抜き タオル・手拭い スリッパ アルコール消毒液・除菌用ウェットティッシュ
 ティッシュ(ウェットタイプ) ビニール袋 モバイルバッテリー 体温計 衛生用手袋・ゴム手袋

- 食料品** 缶詰やレトルト食品など非常食3日分(できれば7日分)
 チョコレート、あめなど
※高齢者や子ども、アレルギー体質の方など配給される食事をとるのが難しい家族がいる場合には、その事情に合った食料を多めに準備。
- 飲料水** 飲料水(大人一人あたり1日3リットルが目安で、3日分(できれば7日分)以上を用意)
 水の配給を受けるためのポリ容器
- 燃料** 卓上コンロ 固形燃料 予備のガスボンベ …など
- 工具** ロープ バール はさみ のこぎり スコップ …など
- その他** 新聞紙など 寝袋 ラップ・アルミホイル なべ・やかん 衣類(季節に合わせて衣替え)
 洗顔用具 マスク シート 予備のメガネ・補聴器など 簡易食器(割り箸・紙皿・紙コップなど)
 携帯トイレ* 使い捨てカイロ 毛布・タオルケット・寝具など 文具類(筆記用具・ノート・マジックなど)
 ウェットティッシュ・トイレトペーパーなど ※大規模災害の際、排水管が壊れたトイレを使用すると逆流するおそれがあります。使用できることが確認できるまでは携帯トイレなどを使用しましょう。

※乳幼児や妊婦、要配慮者の居る家庭は、その他準備が必要となります。家庭により必要な物を検討してください!!

ローリングストックによる備蓄

「ローリングストック」とは、普段の食品・消耗品を少し多めに買い置きしておき、古いものから消費し、消費した分を買い足す方法です。

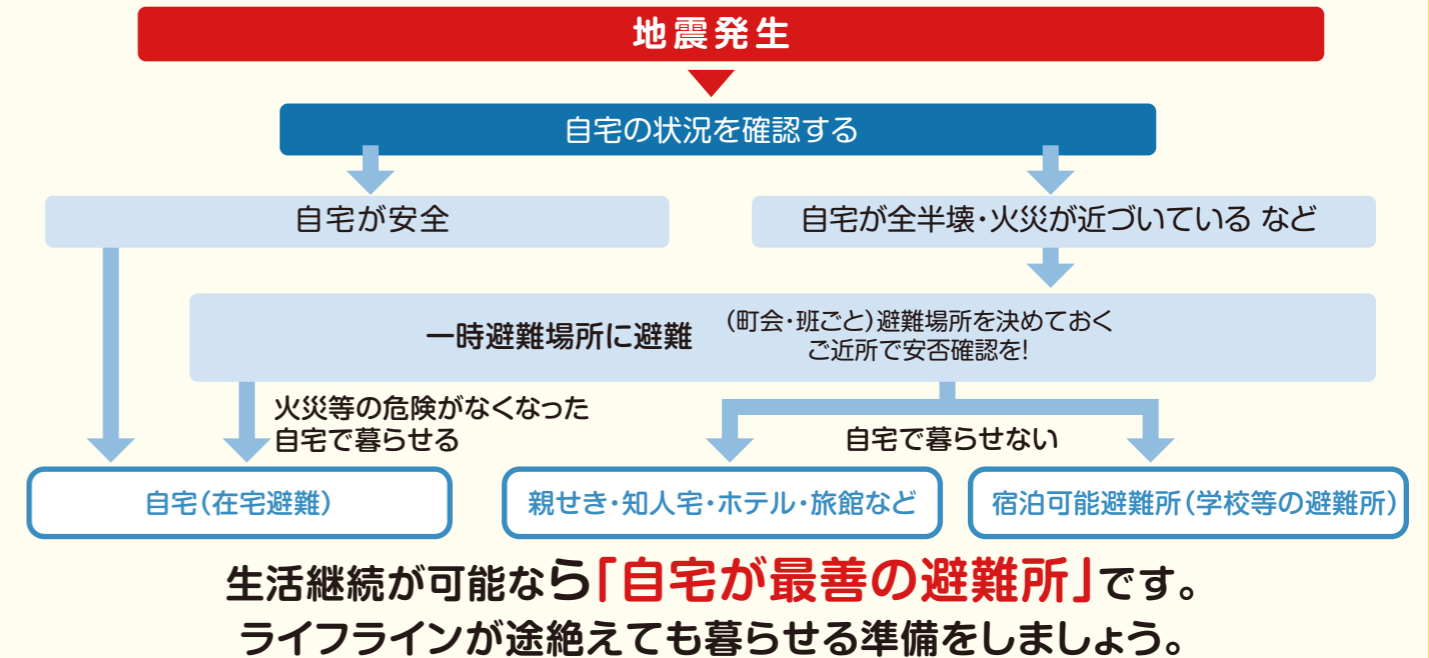
普段愛用しているレトルト食品やインスタント食品を備蓄食料として充当すれば、無理なく利用・補充ができます。各ご家庭において、最低3日分(できれば7日分)備蓄しましょう。



備蓄の目安=家族の人数×最低3日分(できれば7日分)



地震発生時の避難チャート



避難のポイント

- 避難の前にもう一度火元を確認。ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る。(停電復旧後の通電火災の防止)
- 外出中の家族のために、避難先を記した連絡メモを家族で決めた場所に残す。
- 狭い道やブロック塀、石垣、自動販売機のそば、川べり、ガラスや看板の多い場所は避けて歩く。
- 荷物は最小限にする。
- 非常持出品はリュックサックに入れて背負い、両手が使えるようにする。
- 長そで、長ズボンを着用する。
- 自宅に暮らせない場合、親せき・知人宅への避難も検討する。(分散避難)

ペットの防災について

ペットに関する防災の基本は、飼い主が責任を持って対応することです。避難が必要な場合は、原則としてペットを同行して避難することが大切です。

※同行避難中のペットの事故やトラブルに関しては、飼い主の責任となり得ますので特に注意しましょう。

【避難する際の注意点】

- 鑑札・注射済票、迷子札、マイクロチップ等、飼い主がわかるようにしておきましょう。
- 首輪とハーネス両方を装着し、それぞれにリードをつけて万全の安全策をとります。

【避難所での注意点】

- 避難所の指定された飼育場所でケージに入れるなど、ルールを守り飼育しましょう。
- ペットの世話や飼育場所の管理は、飼い主の責任です。清潔に保つよう心がけましょう。
- 避難所にペット用の餌や備蓄品はありませんので、必ず準備しておきましょう。



【ペットのしつけと健康管理】

- 避難所でのトラブルを防止するため、日頃からしつけや健康管理を行いましょう。
- 不必要に吠えない、キャリーバッグやケージの中に入ることに嫌がらないよう慣らしておく、決められた場所で排泄できるようにするなどのしつけを普段から心がけましょう。

ペットの災害対策についてはこちらをご覧ください。



市HP
「人とペットの災害対策」